



竜北通信 高岩

甲斐市立竜王北中学校
学校だより
発行 校長 依田宏記
令和5年度 最終号
2024. 3. 25.

1年間を振り返って

3月11日に卒業生を送り出してから、もう2週間が過ぎ、今日はいよいよ今年度最終日となりました。卒業式では1年生も2年生も、それぞれの思いがこもった合唱と、代表からの言葉を贈ってくれ、卒業生は安心して旅立っていったことと思います。さて、4月にスタートした1年間は皆さんにとってどんな時間だったでしょうか。年度初めに考えた、今年度の目標にはどれくらい近づけたでしょうか。目標に到達し、さらに先へ行った人もいるかもしれませんが、到達できなかった人もいますね。私たちは、いったん目標を決めると、その目標を下方修正することを「逃げ」だとか「あきらめ」のように悪いイメージでとらえがちですが、果たしてそうでしょうか。目標というのは、より大きなゴールにたどり着くためのステップだと考えてみたらどうでしょうか。10ステップでゴールに着こうと思っていたけれど、途中で15ステップに変えたとしても、最後にたどり着くところは同じです。決めた目標が難しければ、修正していいのです。大切なのは進み続けること。ペースはゆっくりでも、進み続ければゴールにたどり着きます。新年度を迎えるにあたって新たな目標を立てるなら、そのことはぜひ意識しておいてください。

感染症対策と免疫力アップ
そして、夏は熱中症予防にも

「ねこのしっぽ」

ね：ねる・睡眠をしっかり取る
こ：こまめに手を洗う
の：飲み物・水分補給
し：食事・三食しっかり食べる
つ：強い体・適度な運動を
ぽ：ポジティブな明るい気持ちで

自分の周りの人を大切にすることの力を信じよう

卒業式の予行練習の時に、「校長の式辞はいつもの話よりも長くなりますが、卒業生だけでなく、在校生の皆さんにも聞いてもらいたいのではよろしく」と言いました。皆さんの心に留めておいてほしかった部分は以下のとおりです。

さて、みなさんの卒業にあたり、一つだけ心にとめておいてほしいことをお話します。それは、「自分の周りの人を大切にすること」です。冒頭で能登半島地震のことに触れましたが、今、こうしている間にも、人間の力では防ぐことができない自然災害以外の理由で、世界中のあちらこちらで尊い命が奪われるようなことが起きています。その背景には様々な主義や主張があるのだらうとは思いますが、それがどんなものであれ人や動物の命を奪い、人々の暮らしや自然を破壊してよいとは思えません。残念ながらこのような状況をすぐにやめさせるには私たちの力はあまりに小さいものです。しかし、私たち一人一人が自分の周りの人を大切にできれば、それは自分を中心にした水の波紋のように少しずつ大きく広がっていき、やがては世界を包み込めるのではないかと思います。世界を変えるのはそんな一人一人の小さな意識なのかもしれません。いつか地球上のすべての生命が幸せに暮らしていける日が来ることを信じて、どうか自分の周りの人を大切にすることを、あなたを中心に広げていってください。

先日は、全校の皆さんに私の退職をお祝いしていただきありがとうございました。36年間の教員人生でしたが、振り返ればこの間ずっと言い続けてきたことは同じだったようです。一人一人の小さな力がやがて大きな輪となることを信じて、これからも言い続けようと思います。未来が明るいものとなるように。